

今回は、病気に対する根本治療を常に目指しておられる「稲田皮膚科クリニック」の稲田 修一院長です。



稲田 修一 院長

## 医療法人 稲田皮膚科クリニック

〒734-0004  
広島市南区宇品神田1-6-1  
電話/082-253-2100  
FAX/082-253-2160  
院長/稲田 修一  
診療科目/皮膚科・アレルギー科



### ○いつ開業されましたか。

9年余にわたる県病院皮膚科部長としての病院勤務を経た後に、6歳から住み慣れている宇品の地で昭和63年に開業しました。

### ○開業されてから今までのことを教えてください。

以前は、皮膚科手術を病院勤務医時代のように積極的に行っていましたが、最近では県病院にお願いする事が多くなりました。

また、皮膚科の特色でしょうか、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年齢層の方が来院されます。加えて、近年は生活環境の変化によると思われる、乳幼児期のアレルギー疾患患者さんの受診が多くなっています。

昔、受診された方がお孫さんを患者さんとして連れて来られることもあり、医師としての喜びを感じるとともに責任の重さを再認識しています。

なお、週1回の施設等への往診を20年近く行っています。

### ○毎日診察で大切にされていることは何ですか。

私が患者であった場合に受けたい治療を、患者さんとの話し合いのもとに行うように心がけています。

来院される患者さんの多くは炎症性皮膚疾患です。この疾患の成り立ちや原因を問診・検査等により、明らかにし、原因除去に取り組むとともに、薬等による副作用を説明して治療を行っています。

その際、衣食住や家族を含む人間関係の改善についても助言をしています。

### ○県病院に一言。

開業医で対応が難しい病状の患者さんは、県病院に紹介するようにしています。

急な依頼にも拘らず、いつも快く受け入れてくださり、且つ適切な最新治療を行っていただき、患者さんともども感謝しています。



稲田皮膚科クリニック外観

### 【取材後記】

病気の原因や対処方法について、解りやすく図や写真を使い説明している事をお聞きし、患者さんの立場に立った治療方針が伝わってきました。

# もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。  
県立広島病院で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

循環器内科

教えて

## Dr. 2

専門診療医による得意治療を紹介いたします。

# 不整脈の治療



循環器内科部長  
三浦 史晴

### ■不整脈について

こんな経験ないですか…?

脈が遅い 脈が速い  
動悸 脈が乱れる  
息切れ ぶらつき

『不整脈』とは、脈の異常の事を言います。不整脈には脈が速い、脈が遅い、脈が乱れるなどがあり、動悸、息切れ、ぶらつき等いろいろな症状が含まれます。

脈は心臓から血液が送り出される事を意味しますが、脈が少なすぎると、心臓から血液が送り出す量が不足し、全身、主に脳に行く血液の量が不足し、ぶらつきやひどい場合には意識を失うこととなります。また、脈が多すぎると心臓は空うちの状態となり、血圧も低下し、全身や脳に十分な血液を送り出すことができなくなります。

そのような症状の中には、治療の必要がないものから、放置すると生命に関わるものまで幅広く、それを見極めるのが不整脈治療の第一歩です。

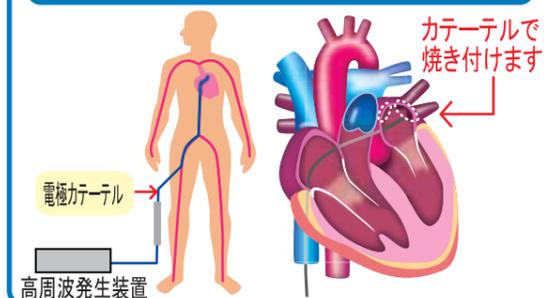
### ■カテーテル治療

脈が速い場合の治療としては、主にもみ薬（抗不整脈薬と呼ばれます）を中心とした薬物療法が一番に思い浮かぶと思いますが、最近では抗不整脈薬の副作用が問題になり、不整脈専門の医師は、どうしても必要な場合のみ薬物療法を行います。それに代わる治療としては、カテーテル治療やデバイス（主にペースメーカーや植えこみ型除細動器など）を使った治療を適切に行っております。その中でも近年、最も進歩しているのがカテーテル治療です。

このカテーテル治療は、高周波カテーテルアブレーション（経皮的な心筋焼灼術）と言われ、心臓の筋肉（心筋）の一部分を実際に焼き、余分な心筋の電気信号を途絶すると言うものです。

このように、動悸や息切れがある場合には、のみ薬を飲まずにカテーテルアブレーションで根治できるものもありますので、ぜひ、主治医の先生に相談してみてください。

### 高周波カテーテルアブレーション



太ももの付け根や首の静脈からカテーテル（管）を入れ心臓の筋肉の一部分を焼き付け電気信号を抑えます。

### ■ペースメーカー治療

以前は、ペースメーカーと言えば、『MRIを撮れない』というのが欠点でしたが、今は条件付きではありますが、MRIを撮ることも可能になってきており、本体も小型化され、寿命も長いものが使えるようになってきています。また、ペースメーカーの状態を自宅にいながら、病院で行うチェックとほぼ同様のチェックを行い、ペースメーカー異常の早期発見に活用できる遠隔モニタリングも発達しています。

このように不整脈治療は日々進歩している領域ですので、今一度、動悸やぶらつきなどの症状がある場合や、現在、不整脈治療を受けているが、他に治療法がないかと思われる方は、ぜひ、不整脈専門の外来を受診してみてください。



条件付きMRI対応ペースメーカー  
次頁に続きます→

## 県立広島病院からのお知らせ

平成28年度 広島県緩和ケア推進事業

### 在宅緩和ケア講演会

日時 9月10日(土) 14:00～16:00 **入場無料**

会場 広島国際会議場ヒマワリ (広島市中区中島町1-5) ※駐車場はありません。

テーマ 『最後まで自分らしく生きるを支える』

講師 株式会社アズ白十字訪問看護ステーション統括所長 暮らしの保険室 室長

秋山 正子 先生

座長 広島県緩和ケア支援センターセンター長 本家 好文 先生

主催・お問い合わせ

広島県緩和ケア支援センター 緩和ケア支援室  
☎082-252-6262 (直通)

第11回 地域健康フォーラム

### 便は健康の便り 便秘と大腸がん

日時 10/1(土) 13:30～15:30 (開場13:00～)

会場 県立広島病院 中央棟2階 講堂 **入場無料**

定員120名 事前申し込み不要!

講演1 便秘のお話 ～たかが便秘、されど便秘～  
県立広島病院 内視鏡内科部長 平本 智樹 先生

講演2 大腸内視鏡検査の実際  
広島市南区医師会 佐々木内科クリニック 佐々木 達 先生

講演3 大腸がんの治療  
県立広島病院 消化器外科部長 池田 聡 先生

※当日の駐車券は無料となります。※手話通訳あります。

県立広島病院 地域連携センター  
☎082-256-3562

第8回がん診療連携拠点病院共催市民講演会

### 知ろう・学ぼう がんと心のケア

～伝えていきますか?あなたの気持ち～

日時 10月30日(日) 13:30～15:45 (受付開始12:30) **入場無料**

会場 広島県民文化センター 広島市中区大手町1-5-3

講師 国立がんセンター中央病院 支持療法開発センター長 内富 庸介 先生 ほか

申込方法 ①お名前 ②住所 ③連絡先を明記のうえハガキ、FAX、WEB又はEメールにて下記宛てにお申し込み下さい。参加証をお送りします。  
※当日は参加証が必要となります。

ハガキ: 〒731-8530 広島市南区宇品神田1-5-54  
WEB: <http://gan-hiroshima.wfamp.com>  
メール: [gan-hiroshima@wfamp.com](mailto:gan-hiroshima@wfamp.com)  
FAX: 082-297-5023

県立広島病院 地域連携センター (がん相談支援センター)

### ■心臓のセルフチェック

『脈が飛ぶ』『脈が速くなる』

一度は誰でも感じたことがあると思います。このような症状の中には、放置してもいいものから治療が必要な病気も含まれます。

では、どうしたらいいでしょう。まずは、自分で脈をとることが大事です。定期的に検診を受けることはもちろんですが、毎日の自己管理が重要です。

自分で決まった時間に毎日脈をとることが一番簡単な方法です。

家庭血圧計で測る脈拍数でも得られる情報は多いと思います。正常の脈の数は、座った状態や、ゆっくりしてかつろいでいる時で、1分間に60回から80回程度です。(年齢でも異なりますが、自分のいつもの脈の数はこんなものと知っておくことも重要です)脈はちょうどいい回数で、規則正しく打つのが正常です。

その他、最近では簡易ではありますが、家庭血圧計と同じように携帯心電計で心電図測定が可能になっています。またスマートフォンを利用したアプリで簡単に脈をとることもできます。

脈を自分で管理することで、脈の異常を早期に発見し、早期治療することにより命に関わる病気や脳梗塞に至らずに済むこともありますので、ぜひ試してみてください。



携帯心電計

### ■最も治療対象になりうる『心房細動』とは

心房細動は、脈がバラバラに打つために脈が急に速くなったり、遅くなったりします。胸の違和感として感じ、しんどくなることが多いのですが、何も症状がない場合もあり、たまたま心電図をとって見つかることも少なくはありません。また症状がなくても心房細動は、脳卒中(特に脳の血管が詰まる脳梗塞)の原因となるため、高齢者や持病がある方は、生命に関わることがあります。

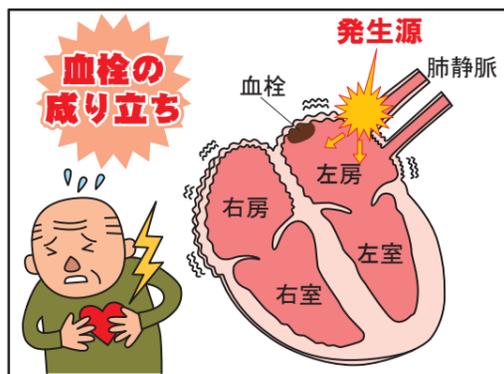
従来、心房細動を含め不整脈といえは薬を飲んで治すということが当たり前でした。しかし最近では不整脈に対する薬は副作用や、だんだん効かなくなることが言われています。そこで根本的に心房細動を治しましょうという治療がカテーテルアブレーションです。

①高温で焼く方法(高周波カテーテルアブレーション)※前頁参照と、②超低温の冷凍で焼く方法(クライオアブレーション)の2つの方法があります。

それぞれ長所と短所がありますが、うまく使い分けることで心房細動を3泊4日程度の入院で根本的に治すことが可能になってきています。治療時間も2-3時間で、眠っている間に治療することができ、治療に際しては、なるべく苦痛を軽減するように努力しています。

またカテーテルアブレーションは、心房細動だけでなく、脈が急に早くなる病気や脈が飛ぶといった病気にも行うことが可能です。

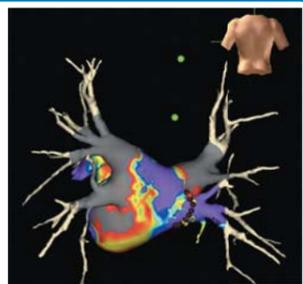
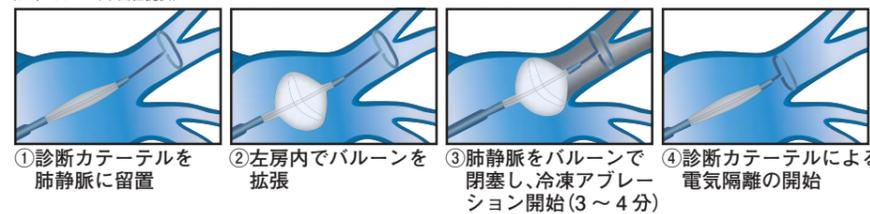
「薬が多いので少しでも少なくしたい」「将来の脳梗塞が心配」「ついつい薬を飲み忘れてしまう」という方は、カテーテル治療を受けることをお勧めします。



心房細動では心房壁が細く震えた状態で縮まないため、血液の流れがゆるくなり、壁の内側に血液がこびりつく。

### クライオアブレーション

左のようなバルーンを肺静脈の入口に押しあてて、液体窒素を中に注入して冷凍凝固します。



肺静脈隔離後の心筋の電気信号(灰色の部分が電気信号の途絶した部分、紫の部分は電気信号が残っている部分)

# 外科医の独り言...no.60

## ー うんち御殿 ー

早いものでこのコーナーも第60回を迎えました。「もみじ」は月刊の広報誌なので丸5年続いたということです。我ながら良く続いたと感心しているのですが、この記念すべきNo60に何を書こうかとずっと悩んできました。そしていつもの事ですが、困った時には「うんち」に訴えることにしました。

ご承知の通り現在、大腸がん検診に最も良く用いられている検査は「便鮮血反応」です。これは安価な検査なので多くの方が検診で受けることができます。症状がないのにいきなり検診で大腸ファイバーを保険診療ですることはありません。もちろん自費ならOKです。便鮮血反応は、便の中に出た微量の血液を感知して異常を知らせてくれます。

昔は血が滴るような肉を食べたら陽性になると言われていましたが、今はヒトの血液成分(ヒトヘモグロビン)にのみ反応する試薬が使われていますのでステーキを食べただけでは検査にひっかかることはありません。しかし、当然のことながら便鮮血が陽性だからと言って必ずしも大腸がんという訳でもなく、胃潰瘍や大腸ポリープ、痔でも陽性になることがあります。便鮮血が陽性で大腸がんが見つかる可能性は2~3%と言われています。便鮮血が陽性だったけどいろいろ検査しても原因がわからない、ということも良くあります。

このように便鮮血反応検査はおおざっぱな検査です。そこで10数年前に私の後輩の1先生が大腸がん検診について私に熱く語っていたのを思い出しました。

当時彼は大腸がんの遺伝子について研究していましたが、ある日とんでもないことを思いついたのです。それは便の中から大腸がん特有のがん遺伝子を取り出すことができれば100発100中大腸がんが診断できると確信を持ったのです。便の中には剥がれ落ちた腸の粘膜が混

じっており、大腸がんがあれば当然がん細胞も便の中に混じり、その遺伝子を取り出せば効率よく大腸がんを見つけることができるというのです。その方法を開発して特許を取り、それががん検診に実用化できれば「うんち御殿」を建てて、後は遊んで暮らすというのです。

確かにウンチを調べただけで大腸がんを確実に診断できるのであれば不必要な大腸ファイバーをしなくて済み、医療経済的にも大変メリットがあります。「うんち御殿」も夢ではないでしょう。しかし、そのあと大量のウンチと格闘したかは定かではありませんが、結果的には様々な障害にぶち当たり「絵に描いた餅」だったようです。その「うんち御殿」を夢見た後輩1先生は今、この県病院で真面目に大腸がんの手術に取り組んでいます。

最近、面白い論文が発表されました。訓練されたラブラドルレトリバーが、大腸がん患者さんのウンチと大腸がんでない人のウンチを90%以上の精度で嗅ぎ分けることに成功したというのです。これは便鮮血反応の精度を上回ること30倍という驚異の精度です。

いわゆるがん探知犬なのです。このがん探知犬のところにうんちを送って嗅いでもらえば大腸ファイバーをしなくて済むかもしれません。そして、このがん探知犬の飼い主は「うんち御殿」を建てることのできるかもしれません。とは言っても我が家に帰って、我が家のシーザーに私のウンチを嗅がせたりはしません。そういえば最近私の右足をよく舐めるなと気になっていましたが、そこには水虫しかありませんでした。我が家のシーザーは水虫探知犬なのかもしれません。



副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長) 板本 敏行(いたもと としゆき)

## ご意見箱

患者さんのご意見等を掲示しています。

平成28年7月より患者さんからのご意見及び当院の対応等について、がん相談窓口横に掲示しています。また、中央ホールにあるご意見箱付近には『患者さんの声』ノートを置いていますので、お時間のある時にでもご覧ください。



ご意見ボード

配置図(中央棟1階)